

長浜・御豊瀬 連携協議会

広報誌

第4号
令和2年 3月 発行
編集委員
大久保、片岡、田内、内田
発行
長浜・御豊瀬連携協議会
長浜ふれあいセンター内
毎年1回 発行予定



大いに賑った・こうち南 Fes

十一月秋空のもと、長浜・御豊瀬・浦戸地域が一体となり開催しましたイベントに、地域内外から沢山の来場者が押し寄せられ、好評を博し無事終了されたことに、これからの地域活性化を推進する上で地域住民としても心強く感じた一日でした。

長浜会場では、岡崎高知市長から開会のご祝辞を頂き開幕、メインとなり第5回「元親こじやんと楽市」が若宮八幡宮参道を会場に、自慢の手作り品等が並ぶ地元出店者等約五十店舗で埋まり、隣のイベント広場では南海中吹奏楽部の演奏・フラダンス・よさこい踊り、賑やかで盛り沢山の催しで盛り上がりました。

みませ会場では、御豊瀬漁港を会場に第6回となる「みませ祭」が、名物の干物・活魚・つみれ汁販売等と併せ、太鼓の演奏もよさこい演奏と続き、来場者は浦戸湾の心地よい潮風に包まれ食を満喫。出店者はこれまでにない最高の入出に楽しんでこ舞いの1日でした。

浦戸会場では「うらら音楽祭」と銘打ち浦戸湾が一望できる絶景の浦戸大橋南詰広場を会場に、地元音楽愛好家の演奏・南海中吹奏楽部、極めつけは高知ビッグバンドと出演され、大勢の愛好者が押し寄せるなか、地元名物の天ぷら等も楽しみ、生の音楽に浸る1日でした。

この企画は、二年前に南部地域の人口減少からの歯止めとなる提案を「長浜・御豊瀬・浦戸活性化協議会」を立ち上げ、地域住民で協議し住民アンケート調査も踏まえ、昨年五月に高知市長に振興策として提出し、地域の活性化を図る先行事業として実施されたもので、来場者の予想以上の盛況と、イベント満足度調査も多数の方が満足したとの回答が寄せられ、多大な成果を取ることが出来ました。

企画から実行プラン迄、ご支援いただきました高知市職員・地元の長浜青少年協賛他、各地でお手伝い頂きました皆様方に改めて御礼申し上げます。

今後の南部地域の活性化につきましては現在高知市では協議中で、これまで振興策を二年に亘り協議しました「長浜・御豊瀬・浦戸活性化協議会」は役目を終え解散しましたが、新たな若い人材等に引き継ぐ体制で、新たな受け皿のもと引き続き地域発展を目指し、今回のイベント体験など糧に築かれて行けるものと確信できた「こうち南フェス」でした。

長浜・御豊瀬・浦戸活性化協議会

長浜・御豊瀬連携協議会 加盟一覧・専門部会構成表

令和2年 2月 現在

地域福祉部会				
活動目的		部会役員		
地域住民間の絆を深め、お互いに支えあいながら、子供から高齢者まで地域住民が安心して暮らせる町づくりに取り組む		部会長	永吉 誠志	
		副部会長	長浜小学校PTA会長 南海中学校PTA会長 高知市老人クラブ連合会	
No.	名称	No.	名称	
1	御豊瀬ふれあいセンター	12	高知地区更生保護女性会南分区	
2	長浜ふれあいセンター	13	高知保護区保護司会南分区	
3	長浜市民会館	14	高知市立長浜小学校	
4	長浜保育園	15	長浜小学校 PTA	
5	御豊瀬地区民生委員児童委員協議会	16	長浜小学校子供見守り協議会	
6	長浜地区人権啓発推進委員会	17	高知市立南海中学校	
7	御豊瀬地区社会福祉協議会	18	南海中学校 PTA	
8	長浜地区民生委員児童委員協議会	19	南海地区補導委員会	
9	高知市老人クラブ 連合会	20	御豊瀬地区人権啓発推進委員会	
10		第1ブロック	21	杉の子せと幼稚園
11		第2ブロック	22	社会福祉法人 おさなごの園
	第3ブロック	23	個人会員	

地域活性化部会			
活動目的		部会役員	
地域の文化・スポーツ活動など通じて、地域住民の交流や活性化に取り組む		部会長	
		副部会長	堀 美智雄 長浜地区体育会事務局長
No.	名称	No.	名称
1	御豊瀬ふれあいセンター運営委員会	8	御豊瀬地区町内会
2	長浜ふれあいセンター運営委員会	9	長浜小学校区青少年育成協議会
3	JA高知市長浜支所	10	長浜地区体育会
4	長浜町づくり推進市民会議	11	長浜女性学級
5	南海あったか応援団	12	みませ祭実行委員会
6	高知県漁業協同組合御豊瀬支所	13	元親こじやんと楽市
7	長浜地区町内会・公民館連合会		

安全・安心部会			
活動目的		部会役員	
地域の防災・防犯・交通安全活動の推進に努め、安全・安心・快適な町づくりに取り組む		部会長	青木 健一 防災士「長浜会」会長
		副部会長	新川 泰造 消防団御豊瀬分団長 中山 伸一 交通安全協会高知南支部長浜分会長
No.	名称	No.	名称
1	防災士会「長浜会」	5	長浜交番連絡協議会
2	消防団 長浜分団	6	交通安全協会高知南支部長浜分会
3	消防団 南部分団	7	長浜小学校交通安全会議
4	消防団 御豊瀬分団	8	長浜防災連合会

長浜・御豊瀬 連携協議会 新規加盟案内

(事務局) 〒781-0270 高知市長浜690-5
高知市長浜ふれあいセンター内
TEL:088-842-2211
FAX:088-842-2239

本会の主旨に賛同し長浜小学校区内で住まい若しくは活動され、共に地域の発展に協力頂ける団体・個人の方の加入を歓迎します。
ご希望の方は、左記事務局までご連絡下さい。

南海中学校 二年生皆なで 将来への志しを宣言する 「立志式」式典を開催

南海中学校「立志式」

令和二年二月二十六日(日) 午前10時から、南海中学校 体育館にて「立志式」が行われました。

南海中学校では、子どもたちに将来の夢や希望・志をはぐくむため、社会の第一線で活躍されている方々から貴重なお話を聞く「南海立志塾」に取り組んできました。さらに、三年前からは第二学年において「立志式」を開催し、将来に向けた高い志を立てる機会としています。

学校長式辞、浦戸小学校藤田校長先生からの祝辞に続き、二年生生徒一人ひとりによる「志」表明を行いました。

「私は将来、こんな職業に就きたい(こんな生き方をしたい)。」

「なぜなら、...だからです。」

「そのためには、今、...をがんばります。」

生徒全員が、ご臨席くださった来賓や多くの保護者の方の前で堂々と宣言できました。

この後も、愛情あふれる保護者代表あいさつ、記念品贈呈に続き、横山弥音さんによる生徒代表謝辞で締めくくられました。

立志式終了後、11時から全校生徒が参加して記念講演会(立志塾)が行われました。

講師は、RKC高知放送アナウンサーの 高橋 生さんを招聘し、「中学生の時の私」動いた高校時代」



式辞を述べる澤本校長



謝辞を述べる生徒代表横山弥音さん

「夢から現実へ、また夢への大学時代」...としてアナウンサーになろうと思ったのか「アナウンサーになつて」などを柱にお話を聴くことができました。

そして、最後に「中学生の皆さんに期待すること」として、「中学生の時は見られるだけ夢を見て、興味のあることには自分から首を突っ込んでみよう。吸収できることをたくさん吸収してほしい。自分の力でどうにでも道は作れる。やりたいことをやってみよう。失敗しても取り返せる。」など、多くのメッセージをいただきました。

今年の立志式も大変有意義なものとなり、来賓の方々からもよい評価をいただいています。今後も、子どもたちの将来への夢や希望をはぐくむため、「南海立志塾」・「立志式」に力を入れていきます。

「朝のあいさつ運動」では、毎月第一月曜日に長浜小学校三ヶ所所入り口に立ち、登校して行く子供たちに元気よく「おはよう」と声かけ運動を行っています。

子供達の健全な育成を目指して活動する 長浜校区青少年育成協議会の報告

高知市青少年育成協議会は、青少年の健全育成を図るため、小学校区毎に設置されており校区青少年育成協議会(以下校区青少協)と称す)は、現在高知市内で四十一の会があり、地域の子供達の健全育成のために活動しているボランティア組織です。

情報があれば見回り活動を強化しています。

活動は各校区青少協が共通して行う事業と、単独で地域に根差して実施する事業とがあり、長浜校区青少協では現在三十名の会員が各自協力できています。

冬には「ウィンター子供会」を開催。親子や友達で楽しめる色々なゲームを催し、サンタクロースも毎年訪れ皆大喜びです。

こうした活動を通して、地域で暮らしている子供達が、楽しく健やかに成長してくれることを願ひ今後も活動を続けて参ります。

「開かれた学校づくり推進委員会」に出席し問題「龍馬マラソン大会」で点等を共に考え、生徒達は他団体とも協同し、給水所でランナーに飲物・果物で接待し声援を送ります。

「体験活動」では炭火でバウムクーヘンを焼いたり「一日先生」で会員が遊びの先生となり、遊びで子供達と楽しんでいます。

会長 中村美津子



皆で楽しくウィンター子供会



美味しかった雪隠寺ソーメン流し

地域の防災活動コーナー

旧御豊瀬小学校にて 「災害時防災体験宿泊訓練」報告

長浜防災連合会と防災士会「長浜会」合同による防災体験訓練を、地元御豊瀬地区及び浦戸地区からも三〇名の参加を得て、十月五日、六日にかけて実施しました。

防災士会の青木会長指揮の元、午後四時から開始。まず隣接し汚れたプールの水を専用浄化装置で浄化し、真水の如く透過した水を各自試飲して、災害時の飲料水対策として有効との感想でしたが、装置の購入価格が高く高嶺の花で、既にこのような装置が開発され市販されている認識は得られました。

御豊瀬小学校避難所開設訓練は、高知市と地元防災士会とで協議し策定されている「避難所運営マニュアル」に沿い、まず避難されて来た住民が体育館屋外に集まり、校内のマニアル保管箱からマニュアルを取り出し、その指示内容に従います。最初は全員の総意に基づきリーダーを選任します。

リーダーは建物の安全確認班・受付班・トイレ班・区割り班等を担当される人材を指名します。最初に安全確認班は建物の内外を巡回して、余震にも耐え避難所として使用可能なのかを判断して、リーダーに報告をして避難所が開設できます。受付班は避難者に順次「避難者カード」を渡して必要事項を記載願ひ、提出後区割りされた場所に入り避難生活は始まり

ます。この「避難者カード」を提出してない方は、避難者として食事・区割り場所等が受けられませんので必ず提出下さい。トイレ班はまず全ての水洗トイレが使用できない措置を施します。これは配管類の破損又断水で水洗利用が出来ないため、直ちに校内に保管されています簡易トイレを開設するか、既存トイレにビニール袋を掛けて用を足し、袋に凝固剤を入れて固く結び指定の場所に一時保管します。誰か一人でもルールを破ると後が大変なことになります。協力をしなければなりません。

次回の訓練は御豊瀬消防分団の方から、全員が救急救命訓練の指導を受け、忘れかけていた救命方法を懇切丁寧な指導のもと訓練を受、再認識できました。夜間となり就寝しようとする中「南海トラフ大震災」が発生、大津波警報が高知沖でも発令された想定で、消防分団の誘導を受け全員で近隣の避難場所にたどり着き、階段を登りつめる夜間の避難体験でしたが、狭い道路で建物の損壊などあれば、厳しい避難行動が想定されま



御豊瀬消防分団による救急救命措置訓練の様子



防災講演 講師 中野未歩氏

「3・11、そのとき」 講師 中野未歩さん お腹が満たされた所で、地域の方にも参加頂き先の東日本大震災を実際に体験され、現在は高知県四万十町役場危機管理課で、震災経験に基づく避難所運営マニュアル作りや、防災学習の講師として各地で活動されています中野さんを講師に招き講演を聞きました。

地震当時中野さんは高校生で、学校からバスで帰宅の途上に強い揺れの地震に遭遇され、借りている仙台市内のアパートに帰るも室内は散乱し、ライフラインも全て停止の中、余震に怯え一夜を過ごされました。地震対策を何もせず生き残れた自分がこんな目に遭うとは、翌朝周辺では手足の無い遺体が多数収容され、検視官によるDNA鑑定で身元の確認がされている状況でした。

この中で「命を繋ぐ4つの心構え」として次の点を指摘いただきました。 1 避難所運営では女性が主役に 2 非日常から日常の生活に切り替える。 3 避難者はお客さんではありません。 4 できる人ができる事をする。 避難所とは助かった命を繋ぐところで、顔の見える関係・仲良くできる環境を作るため、できる人ができることを行うこと等。体験に基づき様々なアドバイスを頂きました。細身の体に似合わせエネルギーに講演を結び「命を繋ぐ」ための体験談を披露され、防災活動に避難所の運営にと、全国各地を訪問され講演活動をされて行く事でしょう。

地震臨時情報 「巨大地震警戒」の発令とは

本年1月25日付け高知新聞で新たな防災情報として、政府の地震調査委員会が公表した今後30年以内に起きるとされる、高知県沖における南海トラフ地震での津波高と発生確率が発表されました。それによりまず、高知県沖では津波高5mの確率が26%以上、10m高では6%未満となっています。但し、これは最大級の地震は除外しており、同委員会ではM8.9級の巨大地震が30年以内に70~80%の確率で起き、平均5m以上の津波高予想を出しています。

同じ新聞上の高知市防災政策課発表で「地震臨時情報」の発令により、一週間程度、市内全ての小・中学校校舎校舎と長浜・御豊瀬等を含む30分以内に30cmの津波浸水が想定される「事前避難対象地域」には、避難勧告が発令された住民は避難が必要との発表もありました。

これは南海トラフ地震臨時情報として、東海沖から九州沖の海底に延びる南海トラフ沿いで、巨大地震発生の可能性が高まった場合に気象庁が発表するもので、昨年からの運用されています。又「半割れ」と称し、南海トラフ震源域の東海沖で地震発生があり、高知県沖では地震被害が無くても、近々連動して地震発生が予測される時は、気象庁から臨時情報(巨大地震警戒)が発令され、高知市では、週間程度市内全ての小・中学校等を休校と、長浜地域等の「事前避難対象地域」には避難勧告が出され、住民にも避難を呼びかけます。高知市ではこれらの対策を「地域防災計画」に盛り込む予定としています。

長浜防災連合会では、こうした発表等を踏まえ行政等と連携し、地域の安全安心対策の情報発信と、必要な防災対策案を推進して参ります。